

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後デイサービス フクシア		公表日		2025 年 3 月 31 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パニックを起こした時、静かに過ごしたいときには別部屋にて対応出来るように配慮しています。	より良い支援ができるよう、部屋の簡易的なゾーニングができるよう計画を進めています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		基準人員に加え、児童指導員1以上、指導員を追加で配置しております。定員10人の基準2人に対し、毎日4名以上の配置を行っています。	専門支援の行えるスタッフを配置していきたいと考えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		こどもたちが視覚認識で自立した行動ができるよう構造化をおこなっています。全体に向けての表示とは別に、こどもに合わせた個別のスケジュールや表記なども用意しています。 完全なバリアフリー化は行われていませんが、トイレはバリアフリーフロア内は畳とフロアの段差のみ。スタッフの見守りにて対応しています。	今後も子供たちがより理解しやすいよう、ゾーニングや個別のスケジュール表記などを行う予定です。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日次亜塩素酸ナトリウム水溶液を使った清掃を行っています。 机・椅子だけでなく、ドアの取っ手など細かく手の触れる場所の清掃を行っています。	こどもたちの活動に合わせたゾーニングを進めてまいります。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンの為の部屋や、集中して勉強を行うための仕切りなどを用意しています。 体調がすぐれない時や仮眠が必要な時の為のベッドを用意しています。	こどもたちが個別に利用できるスペース及び環境を増やしたいと考えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎日の事前ミーティング・毎月支援会議を行っています。 参加できなかった職員には伝達事項等の資料共有およびレポートの提出を求めています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様に当施設の評価や希望をアンケートにて聞いています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		毎日の事前ミーティング・支援会議のほかに、気軽に連絡・伝達可能な媒体を用意しています。 職員の意見をきき、事業所のプログラム・環境改善につなげています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		短期派遣事業者を導入 従業の際にアンケートを取っています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		資格取得を積極的に支援しています。 研修費に際しても支援を行っています。（一定条件有）	非常勤職員に対しても、研修支援等行えるよう整備している為、案内を強化してまいります。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムについては、こども一人ひとりの発達や特性に応じて適切に作成し、事業所内で共有・公表しています。ご家族にも内容をお伝えし、ご理解いただけるよう努めます。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		電話や送迎時・連絡アプリ等でご意見やご希望をきいています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		毎月・職員で話し合いをしています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		資料をいつでも見られるように配置し、職員間の共有を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		フォーマル・インフォーマル双方の視点からアセスメントを丁寧に行い、こどもの理解と支援の質向上に努めています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		本人支援・家族支援・移行支援・地域支援のねらいを踏まえ、こどもの状況に応じた必要な支援項目を計画に設定しています。その上で具体的な支援内容も示し、わかりやすく一貫した支援の提供に努めています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で意見を出し合いながら、子供たちに合った活動ができるようにしています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		内容が固定化しないよう、同じプログラムでも内容を細分化し、子成長や好みも考慮しながら子どもに合った活動になるよう工夫しています。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		その日の子どもの状況に応じて、活動を変えられるように用意しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に打ち合わせ・共有・役割分担等を行っています。 業務日誌にていつでも確認できるよう、共有をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○	支援終了後に簡易の振り返り、 詳細打ち合わせは翌営業日に共有を行っています。	振り返りを当日中に行う時間の確保を進めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		正規職員のみならず、 非常勤のスタッフに記入・記録をお願いします。 また、保護者に対し毎日の支援内容をお伝えしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを実施し、見直しを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		放課後等デイサービスガイドラインに示されている4つの基本活動を、子どもの発達の段階や興味関心に応じて柔軟に組み合わせ、バランスよく支援を行っています。今後も活動の質を高めてまいります。	
25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		活動内容や関わり方に選択肢を設けるなど、都度子どもが自分で選び、決める経験ができるよう質問する場を設けるなどし、工夫しています。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		サービス担当者会議や関係機関との会議には、日頃からその子どもと関わり、状況をよく理解している職員が参加しています。具体的な様子や支援の工夫を共有しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		現在、一部の関係機関とは連携を行っておりますが、地域の保健・医療・福祉・保育・教育等との連携体制はまだ十分とは言えません。情報共有の場を積極的に持ち、連携強化を図ることで支援の質を高めてまいります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校との情報共有や連絡調整は概ね適切に行っており、日々の連携も円滑です。共有や連絡が頻繁にできない学校の場合は、行事予定表などのコピーをとりらせて頂いています。	送迎時やトラブル時の対応についても丁寧に取り組んでいますが、まれに行き違いが生じることがあるため、今後さらに改善を図ってまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○	担当相談支援員から、過去の生育情報等を確認させて頂く機会があります。	現在の利用者は高学年が多く、就学前に利用していた保育所等からの情報を直接いただく機会に限られています。今後は必要に応じて、過去の支援歴や当時の様子を丁寧確認できるよう努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		現在、卒業後の障害福祉サービス事業所等への情報提供は定期的には行っていませんが、必要に応じて、これまでの支援内容や子どもの様子について、いつでも丁寧にお伝えできる体制を整えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		現在、地域の児童発達支援センターとの連携、研修の機会を設けておりませんが、今後は専門的な支援の質を高めるためにも、連携体制を整え、学びの機会を積極的に取り入れていきたいと考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		○		現在は放課後児童クラブや児童館、地域の子どもたちとの交流や合同活動の機会を設けておりません。今後、子どもたちが地域の中で自然に関われるような場づくりについて、検討していきたいと考えています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		現在は自立支援協議会等への参加は行っていませんが、地域の支援体制や他機関の取り組みを知る貴重な機会と考えています。今後、時間的・体制的な調整が可能となれば、参加を前向きに検討してまいります。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日々の送迎時や連絡帳、面談等を通じて保護者との情報共有を大切にしており、子どもの様子や発達の状況、課題について共通理解を持てるよう努めています。	今後も信頼関係を深めながら連携を継続してまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家族支援に関する資料提供や個別相談の中での情報提供は行ってあります。	現在は家族が参加できる研修の機会を設けておりません。今後はご家庭のニーズに応じた学びの場を提供できるよう検討してまいります。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規程や支援プログラム、利用者負担等については、ご利用開始時に説明を行っており、おおむね理解いただけていると考えています。	利用開始から年数のたった継続利用の方にも、必要に応じて再説明できる体制を整えています。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス計画の作成にあたっては、子どもや保護者の意向を丁寧に伺い、将来を見据えた支援ができるよう心がけています。	子どもの意思を尊重し、最善の利益を考慮した支援計画の立案に努めています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		個別面談の際に保護者へお示しし、支援内容についてご説明しています。その上で内容へのご理解とご同意をいただき、こどもにとってより良い支援となるよう心がけています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		子育てに関する相談には日々のやりとりや面談の中でご相談に応じており、おおむね適切に対応させていただいていると考えています。	今後はさらに安心して相談いただけるよう、職員の対応力や支援体制の向上にも努めてまいります。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在、父母の会の活動支援や保護者会の開催、きょうだい同士の交流の機会は設けておりません。今後は保護者同士のつながりや、きょうだいも含めた交流の場の必要性をふまえ、可能な形で支援を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情対応の体制はおおむね整っており、複数の連絡手段を用い周知や対応を行っております。	より詳細に情報共有を行うよう改善を行ってまいります。今後は職員による迅速な報告を促し、より丁寧かつ的確な対応ができるよう努めてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動の様子は、毎日の連絡帳を通じてこまめにお伝えしており、おおむね発信できていると考えています。	行事予定についての発信は今後の課題として、よりわかりやすくお知らせできるよう努めてまいります。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の取り扱いについては、保護者様より同意書を頂いております。期間がたった内容に関しては、再度確認がとれるよう努めています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			今後はさらにわかりやすく伝える工夫や方法があれば積極的に取り入れ、より良い支援につなげていきたいです。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在、事業所の行事に地域住民を招待するなどの地域に開かれた運営は行っていません。今後は、地域とのつながりを大切にしながら、こどもたちにとって安心できる関わりの場を広げていけるよう検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		事故防止や緊急時対応、防犯、感染症対策に関する各種マニュアルを策定し、職員間での共有や訓練も実施しています。	今後は保護者への再周知も行い、より安心して利用いただける体制づくりを継続してまいります。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画・実施・共有を定期的に行っています。子どもたちの活動にも取り入れています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの健康状況については、事前にアセスメントシートを通して把握し、必要な配慮や対応ができるようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在、健康に関わるほどの食物アレルギーを持つこどもの利用はありませんが、医師の指示書に基づいた適切な対応ができる体制を整えています。	今後アレルギーのあるこどもが利用する際にも、安全に配慮した支援を行ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、必要な研修や訓練を行うことで、安全管理に努めています。	現状でも一定の体制は整っていますが、今後もこどもたちが安心して過ごせるよう、よりよい安全策を検討し、継続的に見直してまいります。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画に基づく取組内容については、保護者への説明や連絡帳等を通じて周知を図っており、おおむねできていると考えています。	一部十分に伝わっていない点もあるため、今後はより丁寧な説明を心がけ、改善してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例については、毎日の業務日誌の中で簡易項目として記録し、必要に応じて詳細項目を別紙にて整理・共有しています。職員間で情報を共有し、再発防止に向けた対応策を検討する体制を整えています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のため、職員の意識向上に努めるとともに、こどもへの拘束や静止が必要となる場面については、些細なことでも毎日記録できるよう体制を整えています。今後も適切な対応を継続してまいります。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		こどもへの拘束や静止が必要となる場面については、些細なことでも毎日記録できるよう体制を整えています。今後も適切な対応を継続してまいります。	身体拘束がやむを得ず必要となる場合の対応については、組織的な判断のもと慎重に対応していますが、今後あらためて保護者の皆様へ説明と確認を行い、必要に応じて放課後等デイサービス計画への記載を徹底してまいります。	